東王塚自治会　地区防災計画

基本方針：みんなで守る！東王塚！

2022 年 7 月作成

2024 年7月保有防災資機材等更新

東王塚自治会・自主防災会

１．地区の概要

（１）地区の特徴

①地区の範囲

王寺町東王塚自治会は王寺町久度１丁目にあり、（北）大和川（西）りーべる王寺（南）JR 及び近鉄田原本線（東）国道 25 号線に囲まれた地域の中で南側に位置している。

②地区の社会特性

・人口：346 人・世帯数：190 世帯　自治会加入世帯　175 世帯

JR・近鉄王寺駅前であり、通勤通学に非常に便利な立地にあるため、マンション開発が進んでいる地区です。建物の構成としては分譲マンション３棟・コーポ２棟・ワンルームマンション２棟・戸建となります。

住人構成は・地元住人・マンションが分譲され転居してきた人・ワンルームマンションの独身者となり、様々な世代が混在する地区となります。

年少人口 23 人（割合 6.6%）　生産年齢人口 220 人（割合 63.6%）

老齢人口 103 人（割合 29.8%）　（令和４年７月 31 日時点）

③地区の災害リスク

久度地区は北を大和川・南を葛下川で挟まれ、「後背湿地」と呼ばれる低湿地帯で地盤は弱い。また地盤が低く、大和川堤防・葛下川堤防・国道に囲まれた地区である事から、河川決壊や溢水により浸水被害に遭いやすく、一度浸水するとなかなか抜けない。

① 地震・・・王寺町の真下に断層があり、地盤が弱いので揺れが激しい。液状化リスクがある。

② 水害・・・久度地区の広範囲で浸水被害が出る。水が地区からなかなか抜けないので、救援活動が遅れる。

③ 火事・・・旧道の道幅が狭く消火活動が遅れる。空き家からの出火し延焼の恐れ。
マンション高層部からの出火への対応

東王塚自治会の範囲（王寺町久度地区） Google earth より

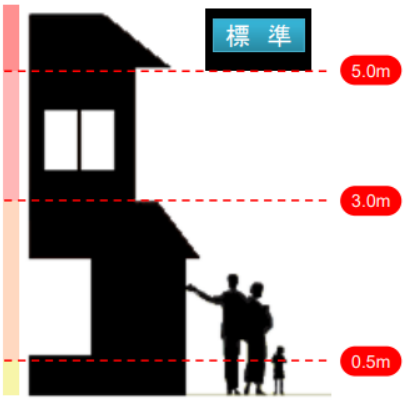
（２）今後想定される災害

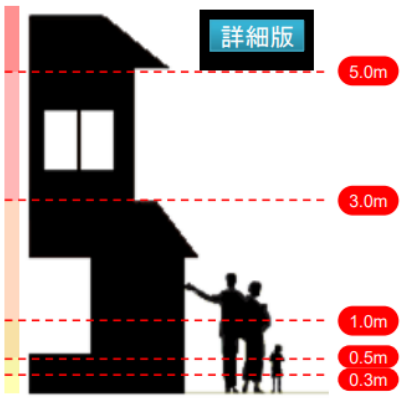
災害種別	想　定	対　策
地震	内陸型地震・海溝型地震・直下型地震を想定し、今後 30 年間で起こりうる東王塚での最大震度 「震度 7」 ※阪神・淡路大震災と同等震度 ※直下に断層がある事から熊本地震と同様の被害が予想される。	・自宅の耐震化。 ・各マンション単位での対策。 ・自治会の支援体制。
大雨	河川増水による決壊、溢水及び河岸侵食氾濫流による家屋の倒壊 東王塚の浸水想定 「北側・・・0.5～3m」※下記参照 「南側・・・3～5m」※下記参照 舟戸地区の防災重点ため池決壊による浸水の可能性もあり。	・避難計画を各家庭で作成しておく。（マイタイムラインを活用） ・在宅避難を含めた要介護の方の避難方法の取り決め。 ・避難所へ避難した方への、自治会からの支援体制。
台風	突風被害及び前線を伴う大雨により河川増水からの決壊の恐れがある。	「大雨」の項目と同様
火災	木造住宅の火災による延焼。 空き家への放火。 マンション高層階からの出火の場合、旧道の道幅が狭く、消火活動に支障が出る事が予想される。	・住宅火災警報器の取付け ・可燃物を長期間置かない。 ・消火活動の支障になる障害物を撤去しておく。 ・消火器を使用した防災訓練

浸水ランクの図示

出典：国土交通省

「水害ハザードマップ作製方法」





【参考】地区の過去の災害（王寺町地域防災計画　資料編より抜粋）

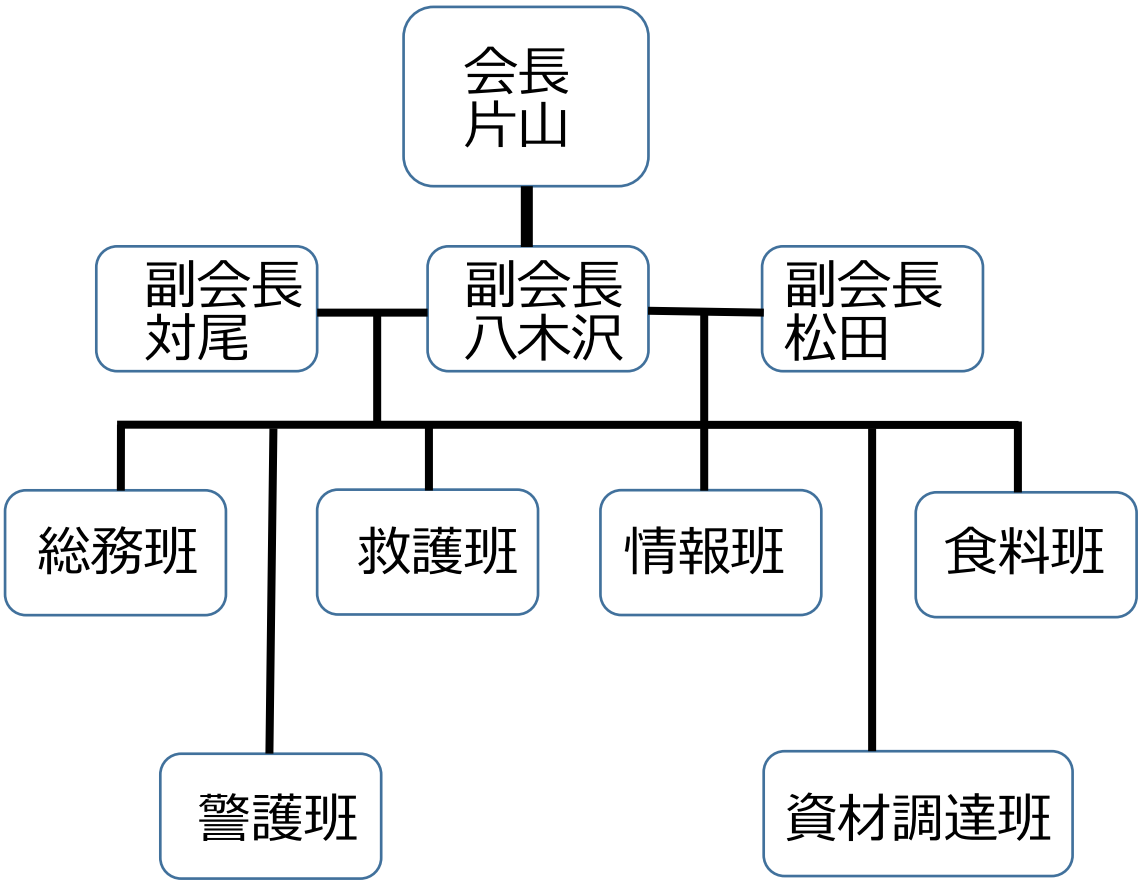
災害名称及び 災害発生年月日	災害による被害状況と当時の状況
地すべり 1967 年（昭和 42 年） 7 月 9 日	本町、久度、王寺の床下浸水 102 戸 亀の瀬で地すべり。当町避難連絡体制。国道不通。
57 水害 1982 年（昭和 57 年） 8 月 1 日～3 日	葛下川が鎌窪橋（王寺 2 丁目）付近右岸で 2 度溢水。 全壊 66 戸、半壊 174 戸、床上浸水 1445 戸、床下浸水 272 戸。 救助法適用。
台風 21 号 2017 年（平成 29 年） 10 月 22 日～23 日	大和川、葛下川が複数地点で溢水。 床上浸水 30 戸、床下浸水 66 戸、土石流 1 か所。 王寺、藤井、薬井観測所で最高水位記録。 総雨量 217 ㎜　避難者 1600 名
河内大和地震 1936（昭和 11 年） 2 月 21 日	震源二上山付近、八木で震度 5 大和川断層の活動であることが近年いわれてきた。 死者大阪府 8 人、奈良県 1 人、家屋全半壊 148 戸 竜田署管内で学校損傷 3、家屋倒壊 1、家屋損傷 261 亀裂 12、灯篭及び石碑倒壊 3 3 3
現河合町を震源とする 地震 1936 年 2 月 21 日 マグニチュード 6.4	死者大阪府 8 人、奈良県 1 人 家屋全半壊 148 戸、崖崩れ 法隆寺、唐招提寺、薬師寺で土塀損傷 八木で震度 5 大和川断層の活動

２．防災活動

（１）活動目標

「自治会活動＝地区防災力」
「互近所」による助け合いの輪を広げよう！！

（２）活動体制



（３）平常時における防災活動

項　目	具体的内容	実施時期
①	広報「東王塚だより」による、防災意識向上	1 回/月
②	ハザードマップを用いた避難経路と避難所の周知及び防災訓練	2 回/年
③	救命救急 AED 訓練	1 回/年
④	消火器を用いた消火訓練	1 回/年
⑤	町や自治会の催事の時に、住人の「顔見せ」による住人の把握	2～3 回/年
⑥	防災倉庫の備蓄品を購入・拡充し、自治会員への開示	1 回/年
⑦	DIG・HUG・マイタイムラインを用いた防災教育の実施	2～3 回/年
⑧	奈良県防災士会・王寺町防災士ネットワークとの連携	随時

（４）災害時における防災活動

活動名	担　当	活動内容
総務班	２名	・避難所及び在宅避難の方の名簿作成。 ・自治会員各家庭の状況把握
救護班	２名	・ケガをした人への応急手当 ・薬の管理（発注、補充） ・避難所への救護応援
情報班	４名	・町からの情報及び無線を活用した情報収集 ・正確な情報の更新と、自治会員への連絡
食料班	５名	・防災倉庫や会員が持ち寄った水、食料で炊き出しを行う。 ・避難所での食事に関する応援業務
警護班	２名	・空き巣被害から地区を守る為、定期の巡回を行う。 ・危険箇所の表示、立ち入り禁止表示を行う。
資材調達班	２名	・防災倉庫の開錠と施錠 ・町からの支給品の受け取り ・必要な資材を町へ連絡し調達する。

（５）中長期的な活動予定

課　題	内　容	達成目標・時期
備蓄品の購入	・水、食料、救援道具を一通り揃える。 ・毎年の購入品目を決め、計画購入する。	担当：自主防災会
催事の開催	・住人同士の「顔の見える関係」の構築には、集まる機会が必要。2022 年度より随時開催。 ・子供も遊べる催事を企画して、自治会活動を知って頂く。	担当：自治会役員
コーポやワンルーム世帯への支援	・広報や掲示物により、防災意識の向上を図る ・被災した際の支援体制を構築しておく。	担当：自治会役員 自主防災会

3．地区防災マップ

Web版 王寺町防災ハザードマップ　洪水・土砂

浸水想定区域

洪水浸水想定区域は、大和川流域で12時間総雨量が316mmの大雨が降った場合の河川氾濫時に想定される浸水の範囲と深さを国土交通省及び奈良県が想定した区域です。想定を超える降雨の場合には、浸水想定区域外でも浸水する可能性があります。

	0.5m未満の区域
	0.5m～3mの区域
	3m～5mの区域
	5m～10mの区域

４．防災関係施設・資機材等リスト

（１）避難所

類　別	施設名	住　所	避難所開設者	電話番号
一次避難所	地域交流センター	久度 2-2-1-501		
	やわらぎ会館	王寺 2-1-18		
指定避難所	王寺町防災コミュニティーセンター（いずみスクエア）	本町 4-645-1		TEL0745-72-1800
	（福祉避難所）文化福祉センター	畠田 9-1608		TEL0745-32-5201

（２）関連機関・施設の連絡先

類　別	施設名	住　所	電話番号
市町村	王寺町役場	王寺町王寺 2-1-23	TEL0745-73-2001～5
医療機関	恵王病院	王寺 2-10-18	TEL0745-72-3101
消防署	西和消防署		TEL0745-73-1001
警察	王寺駅前交番	王寺町久度	TEL0745-72-4970
電気	関西電力		TEL0800-777-3081
ガス	大阪ガス		TEL0120-5-19424
水道	上下水道課	王寺町王寺 2-1-18	TEL0745-73-2568 TEL0745-32-8899

(3)保有防災資機材リスト　　NO.1

物　品	数　量	保管場所	備　考
水とレトルト食品	水2L×60本 レトルト食品×60食	防災倉庫	ストックの無い正会員用
ビスコ	10缶	防災倉庫	ストックの無い正会員用
乾パン	10缶	防災倉庫	ストックの無い正会員用
携帯用浄水器10000L	2	防災倉庫	ストックの無い正会員用
流し台	1	防災倉庫	炊き出し用
焚き火台コンロ	3	防災倉庫	炊き出し用
カセットコンロ	1	防災倉庫	炊き出し用
焚き火台シート 耐火防災	3	防災倉庫	炊き出し用
耐熱グローブ	2	防災倉庫	炊き出し用
火起こし兼火消し壺	2	防災倉庫	炊き出し用
カセットガスストーブ	1	防災倉庫	炊き出し及び暖房用
鍋	4	防災倉庫	炊き出し用
やかん	1	防災倉庫	炊き出し用
プラスチックバケツ	1	防災倉庫	炊き出し用
泥取り十能	10	防災倉庫	泥かき用
スチールバケツ	10	防災倉庫	泥かき用
ジョウレン	2	防災倉庫	泥かき用
角スコップ	4	防災倉庫	泥かき用
剣スコップ	1	防災倉庫	泥かき用
一輪車	1	防災倉庫	泥かき用
台車　大･小	各1	防災倉庫	荷物運搬用
テント	3M×6M　1　3M×3M　2 2M×2M　1	防災倉庫	活動用
テント用注水 ウエートバック	12	防災倉庫	活動用

(3)保有防災資機材リスト　　NO.2

物　品	数　量	保管場所	備　考
簡易トイレテント	3	防災倉庫	活動用
災害用簡易トイレ	3	防災倉庫	活動用
簡易トイレセット	100	防災倉庫	活動用
発電機(ガソリン)800W	2	防災倉庫	発電用
ソーラーパネル発電機 200W	2	防災倉庫	発電用
蓄電池　2000W	1	防災倉庫	蓄電用

5　地区防災タイムライン

●東王塚自主防災組織タイムライン（水害版）

警戒レベル	気象庁が発表	東王塚自主防災組織	住民	王寺町が町民に促す情報
5	大雨特別警報 氾濫発生情報		・各個人の判断	・災害発生状況
4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報		・各個人の判断	・避難勧告 ・避難指示（緊急）
3	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	高齢者・要介護の方の避難開始	・各個人の判断	・避難準備 ・高齢者等避難開始 ・避難所開設
2	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	高齢者・要介護の方への支援準備（民生委員からの支援要請）	・各個人の判断	・避難情報等 ・大雨注意報 ・洪水注意報
1	早期注意情報		・各個人の判断	・警報級の可能性

●東王塚自主防災組織タイムライン（地震版）※震度６弱以上を想定

	経過時間	一般的な出来事	東王塚自主防災組織	住民	王寺町
初動対応	発災直後	地震発生 建物倒壊、出火が始まる 停電、断水、ガスが止まる	・昭和橋公園に集合	・自分、家族、自宅の無事の確認	・出勤可能な者は役場へ集合
	１時間まで	救命救急活動 火災が拡大 二次災害の呼びかけ	・昭和橋公園に集合 ・自治会内の声掛け ・救助活動	・自分、家族、自宅の無事の確認	・情報収取 ・本部設置場所の決定
応急対応	６時間まで	被害の中心地や範囲が判明	・救助活動 ・被害状況の把握	・自宅での避難 ・避難所に避難	・災害対策本部設置 ・各避難所開設
	１日まで	自衛隊が到着	・救助活動 ・ストックの無い人へ水と食料の配布	・自宅での避難 ・避難所に避難	・災害対策本部が各所に対応
	３日まで	広域火災が鎮火、停電解消 ボランティア支援開始 生き埋めなどの生存低下	・警備及び巡回活動 ・ストックの無い人へ水と食料の配布	・自宅での避難 ・避難所に避難	・ボラセン立上げ
復旧期	２週間まで	行方不明者の捜索完了 仮設住宅の建設 水道やガスの復旧	・被災した方への支援 ・自治会活動再開	・勤務先への支援 ・自治会への支援	・災害対策支援本部の設置 ・罹災証明の発行
復興期	１か月後	仮設住宅入居開始	・被災した人への支援	・勤務先への支援 ・自治会への支援	・被災住宅の危険度判定 ・生活再建への支援

会議議事録

2022 年 7 月 9 日
八木沢　潔

日時：2022 年 7 月 9 日 10 時 30 分～12 時 30 分
場所：新久度の家
参加人数　9　名　片山会長・片山（育）・八木沢・松田・対尾・松尾・竹田・池田・森川
テーマ：地区防災計画について

①プロジェクターを用いた地区防災計画案の説明

②保有防災資機材について
・水（昭和橋公園にも上水はある）、簡単なレトルト食料
・流し台
・泥取りのスコップ
・バケツ
・トイレ（マンホールトイレ）※下水が無い間は簡易トイレとして使う

③水害時の自主防災の対応
・要介護の方への支援（民生委員の要請）

④地震時の自主防災の対応
・家族、自宅が問題なければ昭和橋公園に集合
・その後集まった人で対応を検討

※8 月 11 日りーべる王寺で消火訓練が開催

以上

王寺町ホームページ「昭和５７年水害資料 PDF」より引用

「57水害」「大和川大水害」

昭和57年、台風第10号が8月1日に紀伊半島南海上を北上、2日0時頃渥美半島に上陸、2日早朝に富山湾から日本海に進み、中国・四国地方の東部から東北地方にかけて大雨、近畿地方から東北地方にかけて暴風が吹き、全国での死者・行方不明者は95名となりました。

大和川水系では、この台風第10号とそれに続いて接近した低気圧に伴う豪雨により7月31日から8月3日にかけて各所で河川が氾濫する大水害が発生しました。これらはその後「57水害」や「大和川大水害」と呼ばれています。

王寺町でも、大和川の増水により、支流の葛下川が逆流・氾濫し、王寺駅周辺など市街地のほとんどが浸水しました。町内の被害は、家屋全壊66戸・半壊174戸、床上浸水1445戸、床下浸水272戸。災害救助法が適用される甚大な被害をこうむりました。

その後、王寺町内では葛下川の拡幅や堤防の改修、雨水貯留浸透施設や貯留池、内水の排水ポンプなどを整備し、水害への備えを行っています。

被害の様子　8月2日朝

←水没した駅前商店街

↓

王寺町役場前交差点の様子
（8月2日朝）

8月2日午後の町内の様子

←水が引き始めた町内

快晴となった8月2日
午後の様子 ↓

8月2日復旧作業の様子

救援物資の運搬

清掃・復旧作業

8月3日再び水没した王寺町

役場屋上から～南駅前
広場の様子

塀を伝って移動する
人々

８月３日の様子

王寺駅前広場

散乱した家財、ゴミの山

撤去活動

消毒作業